

2月議会一般質問

成田空港周辺のまちづくりへの取り組み

成田の未来を描き、その振興に力を注いでいる雨宮真吾(あまみや・しんご)県議(成田市選出、1期は、2月定例議会の一般質問に登壇し、成田空港周辺の機能強化や道路問題、災害対策や感染症への対応についてなど、多項目にわたって県民・市民の立場から県執行部の考え方をたしまた。その概要をお伝えします。

雨宮議員 成田空港周辺のまちづくりについて、空港会社は昨年7月に「新しい成田空港」構想の「とりまとめ2・0」において、旅客施設の「ワンターミナル化」や物流機能を集約した新貨物地



2月県議会一般質問に登壇した雨宮議員

道路改良工事を進めよ

雨宮議員 先日、街路樹もない場所に関わらず、歩道が約10cm程度隆起しているという不自然な状況が見受けられ、改善工事に立ち会い確認したところ、隆起部分の下は空洞であった。その後の調査の結果、施工時に使用された鉄鋼スラグの化学反応により、今回の隆起が起きたことが判明した。

この路盤材は県内各地で使用されていることから、路盤材に使用した鉄鋼スラグの化学反応による、道路等の隆

増が見込まれることを踏まえ、県として空港周辺のまちづくりをどのように取り組んでいくのか。

知事 成田空港の機能強化や、空港を核とした産業拠点形成の取組を受け、空港内外で大きな雇用が生まれることから、成田空港周辺の地域づくりに関する実施プランでは、「暮らしや産業の拠点として選ばれるエアポートシティ」を将来像として掲げたとあります。

道路管理者である県及び市町村と、鉄鋼スラグの製造会社で、連携を図りながら、順次補修等を実施してきたところであります。

過去2年間の状況としましては、市町村道等も含め令和4年度は279箇所、令和5年度は169箇所の補修を実施しております。

要望 発生可能性個所は把握しているとのことだが、化学反応の時期はいつ起こるかかわからない。引き続き安全確保のため事業者と連携し対応してほしい。

雨宮議員 国道409号は、木更津市や茂原市、東金市、八街市などを經由し成田

め、地域づくりを担う県及び空港づくりを担う空港会社により、市町の枠組みを超えて広域的な視点に立つて、産業集積やまちづくりに関する検討を進める新たな組織を、本年4月に立ち上げることとしました。

この新たな組織では、空港周辺地域全体のあるべきゾーニングの検討や、住環境整備をはじめとする市町のまちづくりに対する支援など、産業界のみならず働く人からも選ばれるまちづくりに向けた取組を進めてまいります。

雨宮議員 旺盛な航空需要が今後も続く見通しから、それを支える空港従事者の市に至る幹線道路だが、東関東道の富里ICから成田市内の国道51号の間で朝夕の通勤時間帯や休日に渋滞が発生している。

国道409号の成田市並木町地先における4車線化の進捗状況はどうか。

県土整備部長 県では、国道409号の富里市七栄から成田市並木町地先までの1・9キロメートル区間で4車線化を進めており、今年度、並木南交差点を含む0・3キロメートルを新たに供用し、富里市七栄から当該交差点までの1・3キロメートルで4車線化が完了しています。

雨宮議員 私は空港周辺地域、特に成田市に立地しているUR都市再生機構をはじめとした集合団地や、県営住宅など、高齢化が進み、オールドタウン化している既存住宅の再生を速やかに進めるべきだと考える。

既存住宅の活用などについて、県はどう対応しているのか。

都市整備局長 県では、市町村や都市再生機構などで構成する協議会において、団地再生に関する取組事例を紹介したほか、都市再生機構と意見交換を行い、入居状況等について情報共有を図ったところです。

また、成田空港の雇用増に伴う住まいの受け皿確保に向け、現在、空港周辺9市町で確保可能な住宅の状況や今後必要となる住宅数の

が1月28日に完了するとともに、鉄道交差部の橋梁について、鉄道事業者と協議を行いながら詳細設計を進めているところです。

要望 総力を結集し、一日も早い開通を目指していただきたい。

県土整備部長 北千葉道路の成田市押畑から大山までの約3・7キロメートル区間については、現在、(仮称)土屋橋などの橋梁工事や道路改良工事を進めています。

また、関戸地区においては、県道成田下総線との接続について、都市計画変更の手続き

調査を行っているところであり、そうした結果も踏まえ、空き家の活用や住宅団地の再整備に向けた検討等、既存住宅の有効活用などを図ってまいります。

なお、県営住宅については、住宅セーフティネットとしての機能を有することから、引き続き住宅に困窮する所得が低い方の住まいとしての役割を果たしてまいります。

●県政や成田市のまちづくりに関するご相談はお気軽にどうぞ

議 務 所

雨宮しんご

〒286-0013 千葉県成田市吾妻 3-48-28

TEL. 070-3131-0057

雨宮真吾県議プロフィール

略 歴

- 1978年 成田市に生まれる。はくと幼稚園、成田市立吾妻小学校、吾妻中学校。平成3年「少年の翼」に入団、中国国際交流。千葉県立富里高等学校。ニュージーランドPapakura High Schoolへ1年間留学。高千穂商科大学卒業。明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科修了(公共政策修士)。
- 2007年 28歳で成田市議会議員選挙初当選。
- 2013年 交通対策特別委員会委員長に就任。
- 2015年 成田市議会議員選挙3期連続当選。
- 2017年 予算特別委員会委員長に就任。
- 2021年 第41代成田市議会議長に就任。
- 2023年 千葉県議会議員選挙に立候補し、初当選。

急がれる災害対策

雨宮議員 能登半島地震では、道路の通行止めや港湾の被害が多数発生し、通行可能道路の把握などに時間を要し、救出・救助活動や物資支援といった初動対応に、大きな影響が生じた。

災害時における初動対応を迅速に行うため、国などの防災関係機関との情報共有をどのように進めていくのか。

防災危機管理部長 現在、県の防災情報システムを国



自席から要望する雨宮議員

の新しいシステムと接続するための調整を進めており、接続後は、各機関が保有する災害情報が地図上に集約されることで、県外の被害状況もふまえた広域的な災害対応が可能となります。

連携により、国や防

災関係機関との迅速かつ精度の高い情報共有が可能となるため、早期にその体制を確立するとともに得られた情報を県民に対して正確かつ迅速に伝達する仕組みを検討していただきます。

また、本システムが災害時に十分な機能を発揮できるように、実践的な訓練を重ねていただきたい。

雨宮議員 災害対応は公

助だけでは限界があり、自助や共助の力を高めることが不可欠である。

共助を推進するため、どのように取り組んでいくのか。

防災危機管理部長 県では、地域における自主的な防災活動に関する研修会を実施しているほか、防災啓発サイト「じぶん防災」において、自主防災組織の役割や

活動事例を紹介するなど、「共助」の取組の強化を進めております。

さらに、市町村における自主防災組織による防災訓練等の取組に対して財政支援を行っているところであります。

雨宮議員 能登半島地震では建設業者の人手不足から復興が遅れが出ており、全国的にも建設業者の人手不足による工事の遅れが課題となっている。

県内建設業における人手不足への県の取り組みはどうか。

県土整備部長 県では、若者や女性が入職しやすい職場環境づくりなどをテーマにした経営者向け講習会

際空港を有する千葉県は、国際感染症に備えるため、現在どのように事前対応型行政を進めているのか。

知事 県では、衛生研究所を中心に、県内の感染症の発生状況をモニタリングするとともに、必要時に迅速な感染拡大防止措置等を行えるよう、対策の最前線となる各保健所においては、地域の特性に応じた訓練などの取組を進めているところです。

特に、空港周辺市町を管轄する保健所においては、平時から成田空港検疫所が主催する検疫感染症措置訓練に参加するなど、国際感染症侵入防止の観点等も踏まえた事前対応型行政に取り組んでいます。

雨宮議員 日本最大の国

等を開催するとともに、千葉県魅力ある建設事業推進協議会を活用した高等学校等への出前講座などを実施しています。

また、県発注工事については、週休2日制適用工事の推進や快適トイレの設置など

教員のイメージ向上で

教員確保を図れ

雨宮議員 教員不足は全国的な課題だが、千葉県においても深刻な状況である。

教員のイメージ向上が急務だと考えるが、県教育委員会における教職の魅力発信の取り組み状況はどうか。

教育長 県教育委員会では、教職志望の学生等に対し、子供の成長を日々感じられるなど教員ならではの仕事の喜び等に加え、豊かな自然に囲まれ、温暖で暮らしやすく、交通の利便性がよいことや、県独自の奨学金返還支援制度など、千葉県で教職に就くことの魅力をあらゆる機会を通じて、具体的に示す必要があると考えています。

そこで、「教員採用プロモーション事業」の一環として、現役の教員から話が聞けるイベントの開催、高校・大学での年間100回を超える出前講座や各種説明会などを実施し、教員志願者等へ直接、訴えかけるとともに、PR動画やSNSにより全国へ広く情報発信を行っています。

雨宮議員 学校評価に対する教員の認識を深めるた

しています。

また、県発注工事については、週休2日制適用工事の推進や快適トイレの設置な

ど働きやすい環境づくりのほか、ICTを活用した現場管理の効率化にも努めているところです。

児童生徒たちの学びが公平かつ正當に評価される環境を整えるためにも、定期テストにおける単元ごとの推奨問題を作成することが有効と考えるがどうか。

教育長 各学校で実施されているペーパーテストは、学習の評価方法の一つであり、知識等の定着を問う基本的な問題や、思考力を問う応用的な問題などが、指導の内容や学校の実情に応じて出題されているものと認識しています。

県教育委員会では、ペーパーテストに限らず、適切な評価が行われるよう、教員研修を実施するほか、生徒の基礎・基本の定着や思考力・判断力・表現力等の向上を目指して作成した、県独自の問題集をホームページなどで周知しているところです。

今後とも、各教科の評価基準や評価方法の具体例を用いた研修を実施するとともに、各教育事務所の学校訪問等を通じて、学校の実情に応じた適切な学習評価の在り方について指導してまいります。

雨宮議員 複数の公立中学校の定期テストを見比べたところ、同じ単元を扱っているが、その出題内容や難易度に大きなばらつきが見受けられた。

雨宮議員 単元ごとの想定問題集の更なる活用を推進と周知を要望する。

また、適切な定期テストの問題作成をするよう、「テスト作成の研修会」や「事例共有」を実施するなど、教員のレベルアップを目指した取組を要望する。

新興感染症の対応力強化を

雨宮議員 千葉県で感染症対策を最も強化すべき場所は、海外からの往来が多い成田空港である。

県は、「成田空港を抱える本県は、感染症発生時ににおける危機管理体制の整備充実が重要だ」とした上で、「千葉県感染症対策連携協議会や感染症予防計画において新興感染症の対応力強化を構築することだが、成田市は千葉県感染症対策連携協議会のメンバーにもなっていない。」

新興感染症のリスクを抱える成田空港周辺地域を代

表して、成田市を県感染症対策連携協議会に加えてはどうか。

保健医療担当部長 県では、新興感染症が発生した際などに、千葉県を挙げた迅速な対応が行えるよう、県保健所設置市、感染症指定医療機関、県医師会、県消防長会、検疫所などを構成員とする感染症対策連携協議会を令和5年8月に設置し、平時から関係者間の連携体制の強化を図っています。

協議会では、関係者間で感染症予防計画の取組状況の確認や感染症対策に有用

な情報の共有及び議論を行うっており、市町村からは保健所設置市に加え、市長会及び町村会の代表にも参画いただいているところです。

また、感染症危機の対応に当たっては、成田空港周辺における体制整備も重要であり、引き続き成田市をはじめ、関係市町村とも連携し、本県の感染症対策の強化に取り組んでまいります。

雨宮議員 県感染症予防計画では、成田空港における水際対策の重要性をどのように位置づけたのか。

保健医療担当部長 感染

症の国内への侵入防止については、国の責任において検疫所が必要な水際対策を講ずるものと考えていますが、成田空港における対応は県内及び国内への感染拡大に直結することから、本県の感染症対策において、検疫所との連携は特に重要と認識しています。

このため、感染症予防計画においては、成田空港からの感染症の侵入防止について、検疫所と日頃から情報交換を行うとともに、検疫所が行う感染症患者の隔離又は停留に必要な療養施設等の確保に当たって、緊密な連携を図ることなどについて記載しているところです。

雨宮議員